

訂正とお詫び

本誌のバック・ナンバーにおいて、下記の箇所に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
(編集部)

■ 2007年8月号

● 特集

p.127 図1：D₁の型番はUDZSTE-174，IC₂の型番はTC7S14FU

p.130 右↓6～7行目：とグラウンドの間→(削除)

● PLLクロックIC InstaClock…

p.178 表Bの「C₀/C₁」の「内容」：並列/等価直列容量比→並列容量/等価直列容量，「C₁」の「単位」：pF→fF

● 低電圧・高速応答電源の実力

p.179 図2：出力電圧の波形は丸みを帯びる

p.180 右↓1行目：3端子→汎用型，同図5 V_{BE}(0.6V)分→トル

p.181 表1：TPS7961の入力電圧は2.7～5.5V，出力電圧は1.2～5.5V，出力

電流は0～1.0A

p.184 中↑7行目：LDO→汎用型リニア・レギュレータ

p.185 左↓1行目：今回の試験条件…0.5Aとしました→しかし0.5Aまでの使用では，今回の3.3V→1.2Vとした場合，十分に入出力間電圧があるのでその0.5Aでテストをしました

p.186 左↑2行目：1.097V→1.098V

p.188 左↓8行目：写真14にテストのようすを示します。→(削除)

p.190 左↑3行目：表面実装パッケージ→SOパッケージ

p.194 表Aの「プロセス」の「仕様」：9.0→90

● ΔΣ A-Dコンバータのしくみ

p.195 左↑11行目：二つです。→理由からです。

p.198 右↑4行目：20 log(2^N√1.5)→20 log(2^N√1.5)

● 怪音&怪光発生装置の製作

p.219 図1：D₅，D₆から脈流100Vのラインへの配線を削除

● 実験で学ぶロジック回路設計

p.236 Keyword2の右↓3行目：このような→通常動作の記述部分にQ<=data；(Qは出力信号)のように記述した

● iPodも採用したARMコア…

p.241 写真1：「USB」と「イーサネット」が逆

● 小型モータの選定と制御技術

p.258 左↓4行目：VR₂→VR₃